

1. 評価結果概要表

作成日 平成 19 年 12 月 6 日

【評価実施概要】

事業所番号	3870700501		
法人名	有限会社 和みの会		
事業所名	グループホーム 春のうらら		
所在地	愛媛県大洲市新谷乙9 1 7 番地 1 (電話) 0893-25-6753		
管理者	簗島美保		
評価機関名	愛媛県社会福祉協議会 利用者支援班		
所在地	愛媛県松山市持田町三丁目8-15		
訪問調査日	平成 19 年 10 月 9 日	評価確定日	平成 19 年 12 月 7 日

【情報提供票より】 (平成 19 年 9 月 1 日事業所記入)

(1) 組織概要

開設年月日	平成 17 年 12 月 5 日		
ユニット数	2 ユニット	利用定員数計	18 人
職員数	16 人	常勤 13 人, 非常勤 3 人, 常勤換算	15.1 人

(2) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	30,000 円	その他の経費(月額)	10,000 円	
敷金	有()円 ○ 無			
保証金の有無 (入居一時金含む)	有()円 ○ 無	有りの場合 償却の有無		
食材料費	朝食	300 円	昼食	300 円
	夕食	400 円	おやつ	100 円
	または1日当たり			円

(3) 利用者の概要 (平成 19 年 9 月 1 日事業所記入)

利用者人数	18 名	男性 6 名	女性 12 名
要介護 1	4 名	要介護 2	7 名
要介護 3	4 名	要介護 4	3 名
要介護 5	名	要支援 2	名
年齢	平均 84.7 歳	最低 62 歳	最高 96 歳

(4) 他に事業所として指定等を受けている事業及び加算

指定	あり	指定介護予防認知症対応型共同生活介護
指定	なし	指定認知症対応型通所介護
届出	なし	短期利用型共同生活介護
加算	あり	医療連携体制加算

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

ホームは小高い自然に恵まれた場所に立地し、木造平屋に2ユニットがある。居間は広く、天窓から自然の柔らかい明かりを取り入れ、空調も適切に管理されている。広いテラスにはテーブルやいすが置かれており、思い思いに寛ぐことができる。センター方式を取り入れ、また毎日の状態を詳細に把握して介護計画を作成し、ケアに反映している。また医療機関とは密に連携をとり、緊急時にも対応できる体制がある。職員はスキンシップを大切にして優しく語りかけ、利用者は穏やかな表情で過ごしている。地域の行事にはできる限り参加し、更にボランティアの

【質向上への取組状況】

▼ 前回評価での主な改善課題とその後の取組、改善状況 (関連項目: 外部4)

前回評価で利用者のプライバシーを損ねる語りかけについて指摘を受けたことに対し、職員で十分話し合い、利用者の人格を尊重した支援に努めるよう心がけている。

▼ 今回の自己評価に対する取り組み状況 (関連項目: 外部4)

自己評価は各ユニットごとに職員全員で意見を集約して作成している。改善点についても今後全職員で話し合いながら前向きに取り組んで行くよう検討している。

▼ 運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み (関連項目: 外部4, 5, 6)

直近では平成19年7月に利用者、家族代表、地域代表、市担当者、近くのグループホームの職員等の参加を得て、ホームの生活の様子、家族代表からの要望、市からの要請事項、地域行事への参加・連携等について意見交換を行い、それを受け、職員全員で質の向上に向け取り組んでいる。

▼ 家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映 (関連項目: 外部7, 8)

家族の来訪時には利用者の様子を具体的に伝え、ホーム内外の相談窓口を紹介し、ホームへの意見を聞き取るよう努めている。更に運営推進会議でも家族代表者、地域代表者などから質問・要望事項を聞き取り、運営に反映させている。今後家族会を結成し、更に多くの要望を聞き取るような工夫を検討している。

▼ 日常生活における地域との連携 (関連項目: 外部3)

地域の運動会や地方祭、近くのお寺の花祭りなどの行事に参加し、ホームのバーベキュー大会などの行事には地域の人を招待して交流を深めている。ボランティアを受け入れ、潤いと楽しみの機会を設けている。11月からは公民館行事にも参加する予定である。更に幼稚園、小学校との交流も計画している。

(別表第1の2)

自己評価及び外部評価結果表

サービス評価自己評価項目 (評価項目の構成)

I.理念に基づく運営

1. 理念の共有
2. 地域との支えあい
3. 理念を実践するための制度の理解と活用
4. 理念を実践するための体制
5. 人材の育成と支援

II.安心と信頼に向けた関係づくりと支援

1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援

III.その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント

1. 一人ひとりの把握
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し
3. 多機能性を活かした柔軟な支援
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働

IV.その人らしい暮らしを続けるための日々の支援

1. その人らしい暮らしの支援
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり

V.サービスの成果に関する項目

ホップ 職員みんなで自己評価!
ステップ 外部評価でブラッシュアップ!!
ジャンプ 評価の公表で取組み内容をPR!!!

ーサービス向上への3ステップー
“愛媛県地域密着型サービス評価”

【記入方法】

- 指定認知症対応型共同生活介護の場合は、共同生活住居(ユニット)ごとに、管理者が介護職員と協議の上記入すること。
 - 各自己評価項目について、「取組みの事実」を記入し、取組みたいに※を付け、適宜その内容を記入すること。
 - 「取組みの事実」は必ず記入すること。
- (注) 自己評価について、誤字脱字等の記載誤り以外、外部評価機関が記載内容等を修正することはありません。

※用語について

- 家族等＝家族、家族に代わる本人をよく知る人、成年後見人などを含む。
(他に「家族」に限定する項目がある)
- 運営者＝事業所の具体的な経営・運営に関わる決定権を持つ、管理者より上位の役職者(経営者と同義)。
- 職員＝「職員」には、管理者および非常勤職員を含む。
- チーム＝一人の人の関係者が連携し、共通認識で取り組むという意。
関係者とは管理者・職員はもとより、家族、かかりつけ医、包括支援センターなど、事業所以外で本人を支えている関係者を含む。

事業所名	グループホーム 春のうらら
(ユニット名)	菜の花
記入者(管理者)	
氏名	簗島美保
評価完了日	平成 19 年 9 月 10 日

(別表第1)

自己評価及び外部評価票

【セル内での改行は「Alt+Enter」です。】

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
I. 理念に基づく運営					
1. 理念と共有					
1	1	○地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	(自己評価) 職員全員で意見を出し合い、地域にとけ込んだ暮らし、今までの生活が継続できるように理念を作り上げました		もっと分かり易い理念に変えて再構築に取り組んで行きたい
			(外部評価) 地域の中でその人らしい生活が送れるよう支援するために、職員全員が話し合っって理念を作り上げている。今後一層地域に密着した暮らしを推進できるような理念に改めるよう検討している。	※	地域密着型サービスのより所となるような理念を、分りやすい文章で表現し、また説明書にも明示し、家族に説明することを期待する。
2	2	○理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	(自己評価) 日々の実践、スタッフ会や申し送り時、理念の確認をしたり心構えとして、ホーム内や更衣室などに貼り、意識しながら出勤時に、目を通して具体的ケアについて話合っている		6ヵ月ごとに取り組む目標を立て実践して行く
			(外部評価) 会議の際には理念を確認するよう努め、ホーム内に掲示している理念に目を通し、お互いに共有し合っってケアに活かすよう努めているが、掲示の文字が小さく、読みにくい。	※	理念を利用者、家族、来訪者、職員の目のつきやすい場所に、読みやすい文字で掲示し、理念の共有・啓発に努めることを期待する。
3		○家族や地域への理念の浸透 事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえよう取り組んでいる	(自己評価) 運営推進会議の委員や御家族の面会時にホームの理念や認知症の理解について話合っている		地域で、キャラバンメイトなど講演が実現できるよう取り組みたいし、認知症の相談窓口として、気軽に声を掛けて頂けるよう委員の方々働きかけて行く

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
2. 地域との支えあい					
4		○隣近所とのつきあい 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている	(自己評価) 出勤時、散歩など隣近所の方との挨拶や会話を重視している。近隣の独居の方のゴミ出しなど協力しながら日常の付き合いを深めている		ホームの行事（そうめん流しなど）近隣をお誘いしているが、敬老会などもお誘いし交流を深めて行く
5	3	○地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	(自己評価) 地域の行事（お寺の花祭り、運動会、公民館祭り、秋祭りなど）にお声を掛けて頂いたりするなど、地域活動への参加を行っている (外部評価) 地域の運動会に参加し、近隣の独居高齢者を招待したり、お寺の花祭りに出かけたり、ホームでのバーベキュー大会に参加してもらうなど、地域の人との交流を深めるよう努めている。地方祭には御輿も立ち寄ってくれる。近々公民館祭にも招待されており、参加する予定である。	※	公民館活動（クラブ活動）のお誘いがあるので、内容を検討しながら参加して行こうと思います。利用者様が喜ぶので、保育所や小学校との交流を深めて行きたい
6		○事業所の力を活かした地域貢献 利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる	(自己評価) 近隣の独居老人の方のゴミ出しや灯油の缶開け等をお手伝いしたり、地区の一斉掃除に参加して、少しでも役立てるように取り組みをしている		運営推進会議でも働きかけていく
3. 理念を实践するための制度の理解と活用					
7	4	○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	(自己評価) 評価を行う意味を説明し、自己評価について、職員全員での話し合いを行い、現状に満足することなく、評価を活かしてより良いケアの取り組みを行っている (外部評価) 自己評価は各ユニットごとに職員で話し合いながら行っている。前回評価を受けての改善点（利用者の希望にすみやかに対応すること、利用者の前で慎むべき言葉に注意すること等）がより良い方向へ向くよう職員全員で努めている。		もう一度項目を振り返って、自分に置き換えたりして、改善に対する取り組みを行っている

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
8	5	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	(自己評価) 前回の運営推進会議での取り上げられた内容、検討事項について、1つ1つ改善して行くよう取り組んでいる。委員様の意見を大切に、サービス向上の為に活かしたり、協力を得ている	※	運営推進会議を会議室だけでなく、利用者様の前で行ったり、一緒に行事（敬老会等）参加したりして、多様な角度な雰囲気より意見を頂けるよう工夫して行く予定です
			(外部評価) 利用者代表、家族代表、市担当者、他ホームの職員などの出席を得て、ホームの生活の様子、家族代表者からの要望、市からの要請事項、地域行事への参加・協力の呼びかけなどについて意見交換を行い、それを受けて職員全員で質の向上に向け取り組んでいる。	※	時折、地域の交番・消防署などにも参加を要請し、さらにホームへの理解・協力を広げることに努めることを期待する。
9	6	○市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	(自己評価) 施設長や管理者は、市町村担当の方と行き来を図っており、管理者は、南予地区の研修担当をしているので、グループホームの研修のお誘いや相談など意見を頂き共にサービス向上に取り組んでいる		
			(外部評価) 市の福祉施設連絡協議会に出席し、情報交換を行い、学習を行っている。市の担当者とは連携を取り合い、疑問点、介護の問題点などを話し合い協力を得ている。		
10		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、地域権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している	(自己評価) 地域権利擁護や成年後見制度に関する研修会に参加して、その内容を理解している。また、必要な人に対して活用できることを話している	※	職員間でも十分に内容を理解して、支援できるように、学習の機会や勉強会をして行く
11		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	(自己評価) ホーム内で、虐待防止関連法について勉強会を開いて、虐待防止を徹底している。事例を出して、分かり易く説明している		繰り返し学ぶことが大切であるので、勉強会の実施をして行く

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
4. 理念を実践するための体制					
12		○契約に関する説明と納得 契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	(自己評価) 契約時、重要事項の説明をゆっくりと分かり易く丁寧に行い、利用料やリスク、医療連携体制の実際など詳しく説明し、必ず質問などをお伺いして、不安を与えないように対応している。		
13		○運営に関する利用者意見の反映 利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	(自己評価) 市町村より介護相談員を2ヵ月に1回派遣して頂き、利用者側からの意見を聞いたり、一諸に過ごして頂き、表情や言葉から読み取って頂いたり、又、職員が個別に聞き取り管理者に伝達し、意見を申し送りで話合っている。		
14	7	○家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々に合わせた報告をしている	(自己評価) 毎月、春のうららたよりや手紙により利用者の暮らしぶりをお送りしている。面会時や電話にて健康状況をお知らせして、利用者が家族と会話ができるようにかかわっている。 <hr/> (外部評価) ホーム便りを毎月家族に届け、ホームの行事や利用者の生活の様子を具体的に知らせている。個人的な相談事項は面会の際に話したり、電話で伝えている。		
15	8	○運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	(自己評価) 家族会や面会時に何でも言ってもらえるよう声かけしている。玄関に苦情箱を設置したり、意見を反映するようにスタッフ会で話し合っている <hr/> (外部評価) 家族の訪問時には積極的に声かけを行い、希望や相談を聞き取るよう努めている。ホーム内外の相談窓口を明示しており、また玄関には相談箱を設置して家族、来訪者の声を募っている。		手紙を添える時に、おおむね3ヶ月に要望欄を設け返送して頂けるようにする

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
16		○運営に関する職員意見の反映 運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	(自己評価) 毎月、スタッフ会で、意見や提案を聞く機会を設け、運営に反映させている		
17		○柔軟な対応に向けた勤務調整 利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている	(自己評価) 柔軟な対応を心がけて、急な事態や要望にも職員間で協力し対応するようにしている。又、夜勤の無理な職員には、回数を減らしたりしている		
18	9	○職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	(自己評価) 出来るだけ各ユニットの職員を固定化し、新人については、必ず紹介して利用者へのダメージを防ぐようにしている。離職の場合、必ず引き継ぎをきちんとしてから利用者や御家族に説明し、新聞にも載せている (外部評価) 職員の異動、担当者の変更はほとんどない。新規職員に関しては職員同士でカバーし合いながら、利用者へ動揺を与えないよう努めている。また新規職員はホーム便りで家族に紹介している。		
5. 人材の育成と支援					
19	10	○職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	(自己評価) 愛媛県グループホーム連絡協議会の研修会に参加している。月1回全員参加の研修会を実施、医療連携の看護師による勉強会や協議会の会長に講演やアドバイスを頂いている (外部評価) 県グループホーム連絡協議会の研修会に参加し、また市福祉施設担当者会議に参加して情報交換している。研修会に参加した際には研修記録を残し、職員のケアの向上に役立てている。	※	研修会に参加できるように計画を立て促す。又、職員から積極的に参加する意欲を引き出して行きたい

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
20	11	○同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	(自己評価) 市内の担当者会議があり、研修や交流を図り、日々の問題を話し合っている	※	他の事業所と交流や見学を行い、気づきや意見交換をして質の向上に繋げて行く
			(外部評価) 他事業所の職員とは情報交換を行っているが、直接訪問し合っでの学習は行っていない。	※	他の事業所と直接訪問し合っで、共にケアの質の向上に向けた学習会等を行うことを期待する。
21		○職員のストレス軽減に向けた取り組み 運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる	(自己評価) 職員のストレスをなるべく共有して、溜め込まないように話し合い、相談に応じるようにしている		
22		○向上心を持って働き続けるための取り組み 運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている	(自己評価) 運営者も頻繁にケアにつき、業務を行い、悩み、状況、職員の努力を把握している。職員は、役割を持ち、日頃より少しでも利用者や家族の為に考えながら取り組んでいる		
II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
23		○初期に築く本人との信頼関係 相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	(自己評価) 事前に、生活状況を把握するように、必ず本人や家族に会って不安ならないよう十分に話し、思いを受け入れながら信頼関係を作るように努めている		
24		○初期に築く家族との信頼関係 相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	(自己評価) 御家族の体験やサービス状況などの今までの経緯を事前にゆっくり聞いて、事業所として、どのような対応ができるか話し合い、ご家族自身を受け止める努力をしている		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
25		○初期対応の見極めと支援 相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	(自己評価) 御本人、御家族の事情や要望を基に、地域包括センターや地域のケアマネージャーと連携を図りながら、必要に応じ他のサービス機関に繋げる柔軟な対応をしている		
26	12	○馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気に徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	(自己評価) サービス開始前にホームに遊び、見学に来て頂き、会話して過ごして頂くようにしている。御家族とも相談して不安を与えないよう家族と居る時間を増やして頂くように協力を得ている (外部評価) 入居希望者には家族と共に来訪してもらい、本人と家族の意思を大切にしながら、ホーム内の生活に馴染んでもらい、入居を決めてもらっている。体験入居の方法をとってもら場合もある。		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
27	13	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	(自己評価) 食事、掃除、洗濯、畑作業、花壇など生活の色々な場面で、利用者と共にいき、暮らしの中で知恵を教えていただきながら、共に支え合い利用者の力を引き出すよう、場面づくりを行っている (外部評価) 好みや状態に応じて食事の手伝い、掃除、鶏の餌やりなどを手伝ってもらい、多くの出番をもうけて喜びを感じてもらっている。普段と変わった表情をしているなどは早めに察知し、穏やかな日を過ごしてもらうよう努めている。		
28		○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている	(自己評価) 日々の暮らしの出来事や出来るようになった事等きめ細かな情報を手紙や面会時に対話し、本人を支える為に話し合いしている		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
29		○本人と家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している	(自己評価) 行事などに御家族を誘ったりしながら、より良い関係の継続。疎遠になっている場合、電話で会話ができるように努めている		
30		○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	(自己評価) 知人や友人などに訪問してもらったり、墓参りや美容室などに行って、一人ひとりの生活習慣を尊重している		思い出の場所へ連れて行って上げたいという思いが有り、ふるさと訪問などを取り入れる
31		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている	(自己評価) 利用者同士の関係を把握し、交流や家事の場面で、トラブルが無い様に支援する。又、助け合って出来るように働きかけている		
32		○関係を断ち切らない取り組み サービス利用（契約）が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている	(自己評価) 退居された後も、お会いしたとき、挨拶や状況をお尋ねするときもある	※	契約終了後の関わり方も手紙などで、関係を断ち切らないようにする
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
1. 一人ひとりの把握					
33	14	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	(自己評価) 利用者の思いを表情、行動により思いや暮らしなどの希望を組み取ったり、面会時や契約時に情報を提供して頂いて把握している (外部評価) 本人の好みや希望の把握には普段から努めており、利用者の思いや希望の把握が困難な場合は家族と十分話し合い、ケアに活かすよう努めている。		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
34		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	(自己評価) 入居時に、一人ひとりの生活歴をセンター方式を利用して記入したり、日常の会話の中で聞いたり、家族とも対話の中で聴き取るようにし、把握にできるように努めている	※	御家族にも、センター方式の生活歴を記入して頂くように協力を得たい。
35		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている	(自己評価) 日々の暮らしの中で、色々な事に声かけして、その表情や行動を見極めながら、残存能力を少しずつ引き出し伸ばしている。できた事に対して誉めて自信をつけさせるよう努めている		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
36	15	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	(自己評価) 介護計画を職員間で話し合い、それぞれの意見を反映させたものを作成し、取り組んでいる。御家族や利用者から必ず意見を聞き取りるようにし、本人の思いを介護計画に反映できるように努めている (外部評価) 職員間で利用者の生活の様子や健康状態を話し合い、また毎日の詳細な記録や所見を参考にして、家族の意見も取り入れながらプランを作成している。		
37	16	○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	(自己評価) 介護計画を3ヵ月ごとに立て見直し、新たな計画を立てるようにしている。利用者に新たな変化が生じた場合、立て直しをしてその都度、御本人や御家族と話し合い現状に即した計画を作成している (外部評価) 3か月に1度見直しを行い、本人と家族の承認を得ている。状況変化に応じてかかりつけの医師や家族に相談をし、計画を見直している。		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
38		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	(自己評価) 個別に日々の食事、排泄、身体状況、本人の言葉、エピソード、対応や気づきを記入して職員が共有できるように介護計画の見直しにも活用している		
3. 多機能性を活かした柔軟な支援					
39	17	○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	(自己評価) 御本人や御家族の状況に合わせた柔軟な対応を行えるよう努めて (外部評価) 各人の希望に合わせた散歩や入浴の支援を行い、地域行事には極力参加をし、またボランティアを受け入れ、潤いと楽しみの機会を設けている。リハビリに通院している利用者に付き添い、県外の家族が来訪した際には宿泊してもらっている。		
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働					
40		○地域資源との協働 本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している	(自己評価) 利用者が安心して地域での暮らしを継続できるよう、民生委員や地域のボランティア（大正琴、和の会の踊り、歌）など協力して頂いている	※	利用者の喜びや楽しみをもっと増やして行きたいので、保育所や小学校等との交流を図って行く
41		○他のサービスの活用支援 本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている	(自己評価) 現在他のサービスを利用していないが、御本人の希望に合わせて、その都度確認し対応するようにしている		
42		○地域包括支援センターとの協働 本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している	(自己評価) 成年後見制度が必要と思われる利用者については、地域包括支援センターと協力して利用できるよう支援している		情報交換を積極的に行い、ホームとの関係づくりを強化して行くようにする

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
43	18	○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	(自己評価) 御本人や御家族の希望に応じたかかりつけ医の診察が受けられるように支援している。主治医とも相談しながら適切な医療機関への通院介助や受診、情報提供の支援している (外部評価) 協力医療機関と日頃から連携を密に取り、利用者は診察や治療、適切な指示を得ており、緊急時にも対応できる体制をとっている。また毎年、健康診断を受けており、治療を要する利用者は家族に相談しながら対応している。インフルエンザの予防接種も全員が受けるなど、健康管理に努めている。		
44		○認知症の専門医等の受診支援 専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している	(自己評価) 認知症に詳しい医師との協力医療機関契約を結び、日常の利用者の姿を通して診察や治療、適切な指示や助言して頂いている。脳神経外科医師とも指示や相談に応じて頂けるように支援している		
45		○看護職との協働 利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている	(自己評価) 24時間気軽に相談が可能な看護師を確保し、毎週1回健康管理や状態変化に応じた支援、アドバイスを頂き、看護師と主治医との連携も密にとれる体制を確保している		
46		○早期退院に向けた医療機関との協働 利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している	(自己評価) ダメージを極力防ぐ為、医師と対話したり、職員が見舞いに行ったりして、早く退院できるようアプローチしている		
47	19	○重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	(自己評価) 該当者がいないので、出来る対応の範囲内で、勉強会を行っている (外部評価) 現在は看取りケアの必要な状況ではないが、看取りの指針に従って看護師を交えて学習を行っている。	※	重度化および看取りについて、意思確認書やマニュアルを作成しており、御本人や御家族の要望を確認しながらホーム内で出来る対応を説明し医師や各関係機関とチームを組んで取り組みができるようにしている
				※	将来を見越した上で、家族に対して早い段階でホームとしての看取りに関する指針を十分説明しておくことが望まれる。

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
48		○重度化や終末期に向けたチームでの支援 重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている	(自己評価) 御本人、御家族の意志を大切に、終末期が訪れた場合には、その都度話し合いを持ち、納得して安心した最後を迎えられるような体制や緊急時に対応して頂ける医療機関も確保している		あらゆる場面を想定して勉強会を持ち常に対応できるようにして行こうと考えている
49		○住み替え時の協働によるダメージの防止 本人が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている	(自己評価) 今までの暮らしが出来るように、アセスメントや注意事項、支援状況などの情報提供を行い、リロケーションダメージを最小限にするため、ケアのノウハウを伝達している		
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1) 一人ひとりの尊重					
50	20	○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	(自己評価) 個人情報の取り扱いについては、入居時に確認を行っている。プライバシーの確保についての注意を日頃から話し合っている (外部評価) 個人情報保護に関する意識向上に努めている。ホーム便りの写真掲載は家族から同意を得ている。本人の誇りを傷つけるような呼びかけが聞かれることがまれにある。	※	利用者の尊厳の保持をして行く為にも、勉強会を繰り返す必要がある 利用者に話しかける場合、プライバシーに関わる事柄に関しては、さりげなく本人のみに伝えるような配慮が求められる。
51		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている	(自己評価) 個々の関わりの中で、その人に合った複数の選択肢を提案し、一人ひとりが自己決定できる場面を演出している		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
52	21	○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	(自己評価) 本人の体調や状況に配慮しながら、時間に縛られる事なく、買い物や散歩、寝る時間など個別に添った支援をしている (外部評価) 入浴、散歩、買い物、就寝時間などは各人の希望にそった支援を行い、一人ひとりのペースを尊重したケアに取り組んでいる。	※	一定の方しか買い物に行けてないので、他の方も時間を作り買い物の支援をして行く
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
53		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている	(自己評価) 化粧を毎日される方もある。衣服は、出来る限り利用者が決めるように支援している。本人の馴染みの美容室なども利用している		
54	22	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	(自己評価) 台所に立てる方がいないので、テーブルの上で、食材を切ったり、盛り付けたり、味見して頂いたり、職員と一緒に楽しみながら作っている。希望を取り入れながら献立を立てている (外部評価) 利用者の状態や希望に応じて食前、食後の手伝いをしてもらい、更に可能な場合は利用者の好みの献立を取り入れることもある。介助を要する利用者には側に座り、語りかけながら十分時間を取って支援を行っている。		
55		○本人の嗜好の支援 本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している	(自己評価) 本人の嗜好を把握して、お酒を一緒に買いに行き晩酌したり、希望の飲み物やおやつを作るように支援している		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
56		○気持ちよい排泄の支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している	(自己評価) 排泄チェック表を利用して、排泄のパターンを把握し、誘導している。パットをなるべく付けないようトイレ誘導は、頻繁に支援している。		
57	23	○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	(自己評価) 一人ひとりの希望や習慣、タイミングに合わせて入浴の声かけを行っている。入浴剤やゆず湯など楽しめるよう工夫している。 (外部評価) 毎日入浴をしている人もおり、2日に1度の場合もあるが、本人の希望に沿って支援を行っている。入浴拒否はほとんどないが、拒否がある場合はじっくり話しかけながら支援を行っている。		現在の利用者様は、夕方の入浴希望者はいないが、希望があれば取り組みをして行く
58		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している	(自己評価) 日中は、なるべく身体を動かし、生活のリズムの調整し、午後から個別にソファや和室での休息を支援している。夜間にゆっくり休めるよう休息時間に配慮している		
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
59	24	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	(自己評価) 得意な事は、最大限活かし掃除、洗濯、家事、畑仕事、鳥のえさやりなどを役割として発揮し、必ず御礼の言葉がけをするようにしている。 (外部評価) 食前、食後の手伝い、洗濯物たたみ、野菜作り、鶏の世話など、出番を多く設けて喜びを感じてもらっている。また歌の得意な人にリードしてもらい、校歌や童謡を歌っている。書道、ぬり絵の得意な人には、特技を楽しんでもらっている。		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
60		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	(自己評価) 力量に応じて、少額なお金を家族同意の上で、持ってもらっている。買い物などで、財布から使用もしている		
61	25	○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	(自己評価) 個別に朝の涼しい内に散歩や花壇の手入れ、鳥のえさやりなど個々の好みに合わせた支援を行っている (外部評価) 午前中に木陰のある道を散歩したり、近くの神社まで足を延ばすこともある。散歩道にはホームがベンチを用意しており、一休みできるように工夫している。		外出はしているが頻度的には、少ない。施設長や管理者が外出時、一人でも多く外出できる様声かけして行く
62		○普段行けない場所への外出支援 一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している	(自己評価) 一人ひとりの思いや願いを受け止め、おおむね月1回は外出するように計画を立てている		
63		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	(自己評価) 御家族に電話して本人と話す機会を増やしたり、手紙を書いて頂いたり、年賀状などを書くようにしている		
64		○家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している	(自己評価) 気軽に来やすく、過ごしやすい雰囲気作りに心がけ、ゆっくり話して頂けるようお茶を出して、少しでも長く利用者と楽しんで過ごして頂けるようにしている		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(4) 安心と安全を支える支援					
65		○身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる	(自己評価) 拘束禁止の対象となる具体的な行為を職員で勉強し、マニュアルを作成し、身体拘束をしないようケアに取り組んでいる		
66	26	○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	(自己評価) 玄関に鍵をかけないようにし、居室の窓から外へ出られるようになっている。花や畑、ニワトリ小屋まで行っている (外部評価) 利用者に精神的な圧迫感を与えないよう、日中は玄関には施錠していない。利用者一人ひとりの外出傾向を把握しており、常に見守る姿勢を大切にして、安全な支援に努めている。		
67		○利用者の安全確認 職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している	(自己評価) 利用者のそばで記録をしたり、夜間も2時間毎の見回りを行い、起床時、すぐわかるように柵に鈴をつけたりして、すぐ駆けつけられるようにしている		
68		○注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている	(自己評価) 薬や包丁、洗剤など利用者の目の届かないところへ保管。使用する場合そばで、見守りをするようにしている		
69		○事故防止のための取り組み 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる	(自己評価) 事故防止の為、鈴をつけたり、滑り止めを利用したりヒヤリハットに関する報告書をきちんと付けている。誤薬などないよう名前入りの薬箱を使用、名前を言いながら確認している		


自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
70		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている	(自己評価) 消防署の協力を得て、救急手当や蘇生術の研修を実施、看護師による勉強会を行っている		看護師による勉強会を定期的に行う
71	27	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	(自己評価) 災害時における体制や避難について職員間で話し合いを行っている (外部評価) 災害時のマニュアルを作成し、連絡網を整備している。水、おむつ、食料等の備蓄もある。消防署の指導を受けて、夜間を想定した避難訓練を年2回実施している。またホーム独自の避難訓練を年間3～4回実施しているが、地域へ協力を呼びかける体制はまだ整っていない。	※ ※	防火訓練、防災避難訓練を定期的実施する予定である。近隣住民との協力体制についても取り組んでいく予定である 災害時には地域の協力が不可欠であるため、運営推進会議などを通じて協力をお願いし、地域の協力を得た避難訓練を実施することを望む。また避難マニュアルは緊急の際に直ぐに手にとって見ることができるよう、ホームの何か所かに備えておくことを期待する。
72		○リスク対応に関する家族等との話し合い 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にしたい対応策を話し合っている	(自己評価) 起こり得るリスクを御家族に話し、力の発揮や自由な暮らしの大切さの中には、リスクを伴う事などを話し取り組んでいる。契約時にも必ず話している		
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
73		○体調変化の早期発見と対応 一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている	(自己評価) 利用者の既往歴を把握し、毎朝のバイタル測定をし、普段と変わった変化がないか様子チェックしている		
74		○服薬支援 職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	(自己評価) 服薬ファイルを作成して、処方箋をケースに入れて誰にでも分かりやすくしている。伝達ノートや介護記録に変化の度に詳しく記入して職員が把握しやすくしている。服薬時、名前を呼びながら、手渡しや介助しながら誤薬しないようにしている		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
75		○便秘の予防と対応 職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる	(自己評価) 野菜を中心の献立、乳製品、食物繊維を取り入れ、朝の散歩、ラジオ体操などの運動や活動を働きかけるようにしている。下剤の調整を行っている		
76		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている	(自己評価) 利用者の能力に応じて、声かけや見守り、介助を毎食後行っている		
77	28	○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	(自己評価) 毎食の食事量をチェックすると共に、毎月の体重測定を行い、食事量の確保を行っている。利用者の状態に応じ、食事量や水分量を調整している。散歩後や入浴後は、水分補給を行っている (外部評価) 各人の食事・水分摂取量は詳細に記録しており、健康状態に十分配慮しながら食事支援を行っている。献立には汁物を多く摂り入れ、入浴前後、外出後などには水分補給に配慮している。	※	定期的に専門的な観点から栄養摂取状況の把握に努め、家族にもその状況を知らせておくことを望む。
78		○感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している（インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等）	(自己評価) 感染症に対するマニュアルを作成しており、予防としてまな板や包丁、ふきんなど調理道具は、毎晩消毒を行い、利用者や職員は、食事前に手洗いの徹底を行っている。利用者や職員は、インフルエンザの予防接種を全員行っている		
79		○食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている	(自己評価) まな板や包丁、ふきんなど毎晩消毒、殺菌をしている。冷蔵庫や食材引き出しなど清潔を心がけをしている。日付の確認を行ったり、食材も新鮮なものなどを買いに出かけている		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1) 居心地のよい環境づくり					
80		○安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている	(自己評価) 玄関先に、長椅子を置きすわって会話しやすい環境で、プランタンに花を植えることで親しみやすい環境づくりを行っている。玄関にも花を生け、季節感を演出している		
81	29	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	(自己評価) 生活の音や匂いが漂い、居間には畳もあり自由に横になれる居心地よいスペースもあり、窓からベランダに自由にでれ、そこから花や畑、山の四季折々の風景が楽しめる。居間には、散歩などに花を摘み生け季節感を出すように工夫 (外部評価) 居間は広く、自然の明かりを取り入れ、空調は適切に管理されている。広いテラスにはテーブルといすが備えられており、自由に過ごすことができる。トイレ、浴室、台所も清潔で安全である。		
82		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	(自己評価) 縁側やベランダにくつろげる長椅子があり、自由に過ごせ、畑には、一休みできる手作りの椅子や散歩コースにも途中、地域の方と過ごせるような環境を工夫してある		
83	30	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのもを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	(自己評価) 仏壇やカーペット、ラジオ、家具など使い慣れたものを置いて、居心地よく生活できるようにしている (外部評価) 居室は明るく、馴染みの物品や思い出の写真などで部屋を飾り、安心して落ち着いて過ごせるよう工夫をしている。	※	馴染みのものが少ない方もおられるので、御家族と相談しながら、増やして行く又、居心地よく過ごせる為に、職員間で話し合い写真や制作物などこれからの生活歴を作り上げて行くよう取り組む
				※	各居室の入り口に大きく苗字を書いた用紙が貼られており、部屋の確認に役立っているが、苗字だけでなく姓名（フルネーム）での表示について検討してみることを期待する。

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
84		○換気・空調の配慮 気になるにおいや空気のだよみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないよう配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている	(自己評価) 各居室には、換気扇が設置。利用者の発汗の様子や外気との温度差があまりないよう、又冷えすぎないように何度も声かけしながら調整している。利用者の中には、昔の生活習慣から冷房などこまめに消す方もおられる		
(2) 本人の力の発揮と安全を支える環境づくり					
85		○身体機能を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	(自己評価) 廊下や浴槽、トイレなど手すりを設置して安全なように配慮し、居室と繋がるベランダには、低い洗濯物干しがあり車椅子の利用者も活用できます。各居室には、洗面台もあり車椅子でも使い易いものと工夫している		
86		○わかる力を活かした環境づくり 一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している	(自己評価) 居室が分りやすいように長い廊下から見ても分り易いように表札を立体的に工夫したり、トイレや入浴場も混乱や失敗しないように工夫している		
87		○建物の外周りや空間の活用 建物の外周りやベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている	(自己評価) 裏に畑があり野菜の収穫し調理したり、鶏をかっていて餌をあげたり、卵を取りに行ったり楽しまれております。ベランダを活用して、そうめん流しやバーベキュー、夏祭りを行っています。		畑作りをもう少し多くの利用者と耕作して行きたい

(注)

- 1  部分は自己評価と外部評価の共通評価項目。
- 2 全ての自己評価又は外部評価の項目に関し、具体的に記入すること。

V. サービスの成果に関する項目			
項目	取り組みの成果 (該当する箇所を○印で囲むこと)	判断した具体的根拠	
88	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる	1 ほぼ全ての利用者の (自己 ② 利用者の2/3くらいの 評価) 3 利用者の1/3くらいの 4 ほとんど掴んでいない	毎日、一緒に仏壇にお茶とうをしたり、鶏の餌の準備、お酒が好きな方とお酒を選んで買い晩酌したりして、利用者の思いや願いを大切にしているが、全員でなく、これから信頼関係を育んでいきたい方もおられ、少しずつ思いや暮らし方等くみ取って行きたいと思います
89	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	(自己 ① 毎日ある 評価) 2 数日に1回程度ある 3 たまにある 4 ほとんどない	一緒に食事、おやつ、散歩などゆっくり過ごす時間を持つようにしている
90	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	(自己 ① ほぼ全ての利用者が 評価) 2 利用者の2/3くらいが 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	一人ひとりのペースを把握し、食事などそのひとのペースで一時間ぐらいかけて自力摂取して頂いたり、起床や消灯も本人の意思に任せ、自由に暮らしている
91	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている	(自己 1 ほぼ全ての利用者が 評価) ② 利用者の2/3くらいが 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	会話やお手伝いしているときに、楽しそうな表情や笑顔が見受けられる。これに満足せずに、もっと多くの笑顔がみれるように努力して行きたい
92	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている	(自己 1 ほぼ全ての利用者が 評価) 2 利用者の2/3くらいが ③ 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	利用者は、自由に外へ出れるようにしています。買い物や美容室などへの支援はしているが要望が多い為に全員の要望は、かなえきれいていないので、少しずつでも取り組んで行きたいと思います
93	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている	(自己 ① ほぼ全ての利用者が 評価) 2 利用者の2/3くらいが 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	本人の希望の病院に通院し、2週間に1回の受診や看護師による訪問もあり日頃から健康管理や状態を把握しているので不安なく過ごしていると思います
94	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	(自己 1 ほぼ全ての利用者が 評価) ② 利用者の2/3くらいが 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	利用者の要望に応じ、家へ連れて行ったり、電話したり、買い物したりと出来る限りの支援をしている。今後も不安や困った事などを減らせるよう取り組みたいと思っています
95	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	(自己 1 ほぼ全ての家族と 評価) ② 家族の2/3くらいと 3 家族の1/3くらいと 4 ほとんどできていない	面会時や電話等で、不安な状態を話しをするようにしている。春のうららたよりにも日々の生活の状況を見て頂いている。日頃から良く対話を持つように心がけている
96	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	(自己 1 ほぼ毎日のように 評価) ② 数日に1回程度 3 たまに 4 ほとんどない	近隣の独居老人の訪問や、ボランティアの方々による訪問をして頂いている。利用者の家の隣の方も良く訪ねて来ています

項 目		取 り 組 み の 成 果 (該当する箇所を○印で囲むこと)	判断した具体的根拠
97	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが広がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている	① 大いに増えている (自己 2 少しずつ増えている 評価) 3 あまり増えていない 4 全くいない	運営推進会議の回を増す程に委員さんの関係上の方々を紹介して頂き、ホームに大正琴や踊り、歌などのボランティアが入るようになり、つながりが広がった。その殆どが地域の方なので、良き理解者として協力が得られるようになりました
98	職員は、生き活きと働けている	1 ほぼ全ての職員が (自己 ② 職員の2/3くらいが 評価) 3 職員の1/3くらいが 4 ほとんどいない	職員は、利用者の為に一生懸命に働いているが、あまりにも要求が多いときには、対応におわれ苦慮している。利用者と行事や外出時は、生き活きと楽しみながら取り組まれている
99	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	1 ほぼ全ての利用者が (自己 ② 利用者の2/3くらいが 評価) 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	表情や笑顔もあり言葉に出して「ここにおいてよ」と言われると満足と言うより、家に近い暮らしが継続されておられると思う
100	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	1 ほぼ全ての家族等が (自己 ② 家族等の2/3くらいが 評価) 3 家族等の1/3くらいが 4 ほとんどできていない	普段のかかわりの中で、面会時の表情や電話等の言葉から感謝の言葉を頂くことがあるので、ホームに入居して頂いて良かったと思います。自分自身のケア方法や家族との関係がより良いものになってきていると思います

【特に力を入れている点・アピールしたい点】

(この欄は、日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入してください。)

(自己評価)

○散歩に出かけ易いように、途中で手作りのベンチを設置し休憩場所として花畑も作り、地域の方々も一緒に利用しておしゃべりしたり、四季折々の景色を眺めゆったりと過ごせるようにしています。○少しでも出来ること喜びごとを中心に引き出し伸ばすように工夫しています。○笑顔で接して、喜怒哀楽をともに感じ合い一人ひとりとの関わりを大切にしている

(別表第1の2)

自己評価及び外部評価結果表

サービス評価自己評価項目 (評価項目の構成)

I.理念に基づく運営

1. 理念の共有
2. 地域との支えあい
3. 理念を実践するための制度の理解と活用
4. 理念を実践するための体制
5. 人材の育成と支援

II.安心と信頼に向けた関係づくりと支援

1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援

III.その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント

1. 一人ひとりの把握
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し
3. 多機能性を活かした柔軟な支援
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働

IV.その人らしい暮らしを続けるための日々の支援

1. その人らしい暮らしの支援
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり

V. サービスの成果に関する項目

ホップ 職員みんなで自己評価!
ステップ 外部評価でブラッシュアップ!!
ジャンプ 評価の公表で取組み内容をPR!!!

ーサービス向上への3ステップー
“愛媛県地域密着型サービス評価”

【記入方法】

- 指定認知症対応型共同生活介護の場合は、共同生活住居(ユニット)ごとに、管理者が介護職員と協議の上記入すること。
 - 各自己評価項目について、「取組みの事実」を記入し、取組みたいに※を付け、適宜その内容を記入すること。
 - 「取組みの事実」は必ず記入すること。
- (注) 自己評価について、誤字脱字等の記載誤り以外、外部評価機関が記載内容等を修正することはありません。

※用語について

- 家族等＝家族、家族に代わる本人をよく知る人、成年後見人などを含む。
(他に「家族」に限定する項目がある)
- 運営者＝事業所の具体的な経営・運営に関わる決定権を持つ、管理者より上位の役職者(経営者と同義)。
- 職員＝「職員」には、管理者および非常勤職員を含む。
- チーム＝一人の人の関係者が連携し、共通認識で取り組むという意。
関係者とは管理者・職員はもとより、家族、かかりつけ医、包括支援センターなど、事業所以外で本人を支えている関係者を含む。

事業所名	グループホーム春のうらら
(ユニット名)	つくしんぼ
記入者(管理者)	
氏名	篠原美紀
評価完了日	平成 19 年 9 月 10 日

(別表第1)

自己評価及び外部評価票

【セル内での改行は「Alt+Enter」です。】

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
I. 理念に基づく運営					
1. 理念と共有					
1	1	○地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	(自己評価) 設立当時に作られたものであるが、皆満足している。		もっと分かり易い易い理念に再構築したい。
			(外部評価) 地域の中でその人らしい生活が送れるよう支援するために、職員全員が話し合っって理念を作り上げている。今後一層地域に密着した暮らしを推進できるような理念に改めるよう検討している。	※	地域密着型サービスのより所となるような理念を、分りやすい文章で表現し、また説明書にも明示し、家族に説明することを期待する。
2	2	○理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	(自己評価) 理念は各ユニットに明示してあり、理念を共有している。もう少し目につくところに明示してはどうか。	※	出社、退社時に必ず目に止まる所（タイムカード周辺）にも掲示し、なお一層の理念の再認識に努めたい。
			(外部評価) 会議の際には理念を確認するよう努め、ホーム内に掲示している理念に目を通し、お互いに共有し合っってケアに活かすよう努めているが、掲示の文字が小さく、読みにくい。	※	理念を利用者、家族、来訪者、職員の目のつきやすい場所に、読みやすい文字で掲示し、理念の共有・啓発に努めることを期待する。
3		○家族や地域への理念の浸透 事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にした理念を、家族や地域の人々に理解してもらえよう取り組んでいる	(自己評価) 特に大きな取り組みはしてないが、ホームが孤立する事なくどんどん外へ出ていき、地域で当たり前暮らししている姿をうらら新聞等でお知らせしている。		今後、つね日頃から機会ごとに取り組んでいきたい。

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
2. 地域との支えあい					
4		○隣近所とのつきあい 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている	(自己評価) 散歩などの際には、気軽に挨拶を交わしている。職員の通勤の際は、スピードを出さないよう気をつけている。		ホームの行事の時、近隣をお誘いしているが、敬老会等にもお誘いし、交流を深めていく。
5	3	○地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	(自己評価) 地域の一斉清掃の参加や、地区の運動会の応援等参加して、地域の方と共に汗をながしている。 (外部評価) 地域の運動会に参加し、近隣の独居高齢者を招待したり、お寺の花祭りに出かけたり、ホームでのバーベキュー大会に参加してもらうなど、地域の人との交流を深めるよう努めている。地方祭には御輿も立ち寄ってくれる。近々公民館祭にも招待されており、参加する予定である。	※	運動会の応援にでかける際は、公民館長さんに一声かけてから出向くようにする。
6		○事業所の力を活かした地域貢献 利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる	(自己評価) 近所の独居の方のゴミ捨ての協力をしている。ボランティアの方の来所時の声かけ等を行っている。	※	運営推進会議でも働きかけて行く。
3. 理念を实践するための制度の理解と活用					
7	4	○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	(自己評価) 自己評価は全員で行い、振り返り今後のケアに生かしていく。 (外部評価) 自己評価は各ユニットごとに職員で話し合いながら行っている。前回評価を受けての改善点（利用者の希望にすみやかに対応すること、利用者の前で慎むべき言葉に注意すること等）がより良い方向へ向くよう職員全員で努めている。	※	昨年できなかった事、今後改善していく事を、出来ることから1つずつ改善していけるよう取り組む。

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
8	5	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの 実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	(自己評価) 参加していない職員への伝達が不十分である。ご家族の本音を聞けるよう一時職員が席を外す時間があってもいいのでは、と考えている。	※	今後2ヶ月に1回の開催を行っていき、内容等についても、共有していきたい。
			(外部評価) 利用者代表、家族代表、市担当者、他ホームの職員などの出席を得て、ホームの生活の様子、家族代表者からの要望、市からの要請事項、地域行事への参加・協力の呼びかけなどについて意見交換を行い、それを受けて職員全員で質の向上に向け取り組んでいる。	※	時折、地域の交番・消防署などにも参加を要請し、さらにホームへの理解・協力を広げることに努めることを期待する。
9	6	○市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	(自己評価) 主に管理者、運営者が行き来している。		今後と同様にしていきたい。
			(外部評価) 市の福祉施設連絡協議会に出席し、情報交換を行い、学習を行っている。市の担当者とは連携を取り合い、疑問点、介護の問題点などを話し合い協力を得ている。		
10		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、地域権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している	(自己評価) 地域権利擁護や成年後見制度に関する研修に参加して行く。	※	今後学習の場を持ち、制度の理解を深めていきたい。
11		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	(自己評価) ホームで虐待防止についての勉強会を開いて、防止に向けて徹底していく。	※	知らない事、気づいてないことがあると思う。今後勉強会で学習していきたい。

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
4. 理念を实践するための体制					
12		○契約に関する説明と納得 契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	(自己評価) 管理者が説明をしている。		管理者が不在時説明できるようにしていく。
13		○運営に関する利用者意見の反映 利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	(自己評価) 今年度より介護相談員に入ってもらい、利用者の相談にのって頂いているが、反映にまで至っていない。	※	定期的に相談員の派遣を促し、利用者の方の意見を反映していけるよう、職員から相談員へアプローチが必要と思われる。
14	7	○家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々に合わせた報告をしている	(自己評価) 月1回うらら新聞を発行し、担当者がコメントで近況などを報告している。外出行事のビデオを残し、見て頂いている。 (外部評価) ホーム便りを毎月家族に届け、ホームの行事や利用者の生活の様子を具体的に知らせている。個人的な相談事項は面会の際に話したり、電話で伝えている。		家族への報告をしていきたい。
15	8	○運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	(自己評価) 玄関口に意見箱を設置しているもあまり活用されていない。年に数回ご家族参加型の行事を行っているが、ご家族と職員御家族同士の意見交換にまで至っていない。 (外部評価) 家族の訪問時には積極的に声かけを行い、希望や相談を聞き取るよう努めている。ホーム内外の相談窓口を明示しており、また玄関には相談箱を設置して家族、来訪者の声を募っている。	※	ご家族が、ちょっとしたことであっても意見箱活用呼びかけが必要と思われる。家族会の立ち上げは未定である。

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
16		○運営に関する職員意見の反映 運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	(自己評価) スタッフで意見や提案を聞く機会を設け、運営に反映させている。		機会を設け面談の実施し、コミュニケーションを図る。
17		○柔軟な対応に向けた勤務調整 利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている	(自己評価) 柔軟な対応を心がけて、急な事態や要望にも職員間で協力している。		利用者のために職員間で協力していきたい。
18	9	○職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	(自己評価) 新人について必ず利用者に紹介して、利用者の不安やダメージを防ぐようにしている。 (外部評価) 職員の異動、担当者の変更はほとんどない。新規職員に関しては職員同士でカバーし合いながら、利用者へ動揺を与えないよう努めている。また新規職員はホーム便りで家族に紹介している。		
5. 人材の育成と支援					
19	10	○職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	(自己評価) 愛媛県グループホーム連絡協議会の研修会に参加している。研修後は、参加できなかった職員への伝達をおこなっている。 (外部評価) 県グループホーム連絡協議会の研修会に参加し、また市福祉施設担当者会議に参加して情報交換している。研修会に参加した際には研修記録を残し、職員のケアの向上に役立てている。	※	計画的に全員が参加できるようにしていく。

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
20	11	○同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	(自己評価) 市内の担当者会議があり、研修や交流を図り、日々の問題を話しあっている。	※	他の事業所と交流や見学を行い、気づきや意見交換をして質の向上につなげていく。
			(外部評価) 他事業所の職員とは情報交換を行っているが、直接訪問し合っでの学習は行っていない。	※	他の事業所と直接訪問し合っで、共にケアの質の向上に向けた学習会等を行うことを期待する。
21		○職員のストレス軽減に向けた取り組み 運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる	(自己評価) ストレスを溜め込まないように話し合い、相談に応じる。		もう少し話し合いの機会を増やしていきたい。
22		○向上心を持って働き続けるための取り組み 運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている	(自己評価) 運営者も頻繁にケアに就き、努力や勤務状況を把握している。		休暇の取得等考慮したい。
II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
23		○初期に築く本人との信頼関係 相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	(自己評価) 事前には生活状況を把握するように、必ず本人や家族に会って、不安にならないよう十分に話し、思いを受け入れながら信頼関係をつくるようにしている。		
24		○初期に築く家族との信頼関係 相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	(自己評価) ご家族の体験やサービス状況などの今までの経験を事前にゆっくり聞いて、事業所としてどのような対応ができるか話合い、ご家族自信を受け止める努力をしている。		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
25		○初期対応の見極めと支援 相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	(自己評価) 地域包括センターや地域ケアマネージャーと連携を図りながら、必要に応じて他のサービス機関に繋げる柔軟な対応をしている。	※	入居前の面談に十分な時間が取れず、入居されてか羅行動障害に振りまわされる事があるので、事前調査を入念にしていきたい。
26	12	○馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	(自己評価) サービス開始前にホームに見学に来て頂き、他の利用者や、職員と会話して過ごしていただくようにしている。ご家族とも相談して不安を与えないよう家族という時間を増やしていくように協力を得ている。 (外部評価) 入居希望者には家族と共に来訪してもらい、本人と家族の意思を大切にしながら、ホーム内の生活に馴染んでもらい、入居を決めてもらっている。体験入居の方法をとってもら場合もある。		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
27	13	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	(自己評価) 利用者は人生の大先輩であるという考えを共有しており、普段から教えて頂く場面が多い。 (外部評価) 好みや状態に応じて食事の手伝い、掃除、鶏の餌やりなどを手伝ってもらい、多くの出番をもうけて喜びを感じてもらっている。普段と変わった表情をしているなどは早めに察知し、穏やかな日を過ごしてもらうよう努めている。		色々な面でできたりや作り方など教えて下さる様、セフティングして行っている。
28		○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている	(自己評価) ご家族の思いや身体状況、家庭事情などを汲み取り、本人を支えるためにご家族と同じような思いで支援している事を伝える。		家族との関係をサポートして行きたい方法も話し合う。

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
29		○本人と家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している	(自己評価) 本人の家族への思い、家族の本人への思いを受け止めて、状況を見極めながら、両者の思いが結びつくような働きかけを心がけている。		
30		○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	(自己評価) 個別の対応はむづかしく、できている方とできてない方とある。	※	思い出の場所へ連れて行ってあげたいという思いが有り、時間を作って支援する。
31		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている	(自己評価) 仲の良い利用者同士の関係を大切にしながら、能力に応じた利用者同士の協力ができるよう声かけしている。		
32		○関係を断ち切らない取り組み サービス利用（契約）が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている	(自己評価) 入院のため退去された方への見舞いに行ったり、誕生カードを届けたりしている。		
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
1. 一人ひとりの把握					
33	14	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	(自己評価) 一人ひとりの思いや希望については、その都度、本人からの声を傾聴するようにしている。希望をかなえる事が困難な場合は、安心できる返答を模索するなど、不安を取り除く努力している。 (外部評価) 本人の好みや希望の把握には普段から努めており、利用者の思いや希望の把握が困難な場合は家族と十分話し合い、ケアに活かすよう努めている。	※	本人、家族の不安やストレスが少しでも軽くなるよう関わっていきたい。

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
34		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	(自己評価) 入居時の情報収集を参考にしている。	※	職員の情報の共有と、センター方式を反映させる。
35		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている	(自己評価) ライフスタイルを大切にしながら、無理の無い範囲で働きかけを行っている。		今できることを把握し、利用者個々がキラッと輝くような場面を増やしていきたい。
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
36	15	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	(自己評価) 申し送り時、ミーティング時にスタッフ間で話し合っている。本人、ご家族へは、担当職員が意向を聞き、本人の思いに添えるような介護計画作りに取り組んでいる。 (外部評価) 職員間で利用者の生活の様子や健康状態を話し合い、また毎日の詳細な記録や所見を参考にして、家族の意見も取り入れながらプランを作成している。	※	利用者の求めていることや、ご家族の希望等を繰り返し聞き取り、計画に反映していけるよう取り組みたい。
37	16	○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	(自己評価) ご家族への相談、報告は、電話で行っている。介護計画を3ヶ月ごとにたて、見直しを図っている。 (外部評価) 3か月に1度見直しを行い、本人と家族の承認を得ている。状況変化に応じてかかりつけの医師や家族に相談をし、計画を見直している。	※	今後、家族参加型のケアカンファレンスが行えるといいとおもう。

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
38		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	(自己評価) 日々の状態や活動状況、特変した事など記録に残し、ケアプランの実践状況については、青文字による記載をし、朝、夕の申し送りによる確実な伝達につとめている。		
3. 多機能性を活かした柔軟な支援					
39	17	○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	(自己評価) ご本人や御家族の状況に合わせた柔軟な対応が行える。 (外部評価) 各人の希望に合わせた散歩や入浴の支援を行い、地域行事には極力参加をし、またボランティアを受け入れ、潤いと楽しみの機会を設けている。リハビリに通院している利用者に付き添い、県外の家族が来訪した際には宿泊してもらっている。	※	今後、運営者と相談していく。
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働					
40		○地域資源との協働 本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している	(自己評価) 地域のボランティアを積極的に受け入れ、協力を頂いている。	※	ボランティア等の受け入れはできているが、こちらから今後ボランティアを募るなど、発信していたら良いと思う。
41		○他のサービスの活用支援 本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている	(自己評価) 現在、他のサービスを利用していないが、ご本人の希望にあわせて、その都度確認し対応するようにしている。		
42		○地域包括支援センターとの協働 本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している	(自己評価) 成年後見制度が必要と思われる利用者については、地域包括センターと協力して利用して利用できるように支援する。	※	情報交換を積極的に行い、ホームとの関係づくりを強化していくようにする。

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
43	18	○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	(自己評価) 定期的に協力医の往診を受けている。本年度より、協力医の定期健康診断の体制が整い、健康管理の充実につながっている。 (外部評価) 協力医療機関と日頃から連携を密に取り、利用者は診察や治療、適切な指示を得ており、緊急時にも対応できる体制をとっている。また毎年、健康診断を受けており、治療を要する利用者は家族に相談しながら対応している。インフルエンザの予防接種も全員が受けるなど、健康管理に努めている。		
44		○認知症の専門医等の受診支援 専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している	(自己評価) 提供医療機関は、認知症専門医ではないが、熱心で家族や職員の相談にのっていただいている。		
45		○看護職との協働 利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている	(自己評価) 看護職員の雇用。月に4回の看護師による健康管理、チェックや指導を受けている。	※	今後も情報の共有や連携を図っていく。
46		○早期退院に向けた医療機関との協働 利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している	(自己評価) 利用者の入院後は、主治医とご家族での相談が多く、その後、ご家族からの報告となる。	※	利用者の見舞いに立ち寄るなどご家族に安心していただけるよう関わっている。
47	19	○重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	(自己評価) 取り組みはじめてばかりである。 (外部評価) 現在は看取りケアの必要な状況ではないが、看取りの指針に従って看護師を交えて学習を行っている。	※ ※	今後なるべく早いうちに勉強会を重ね、全員で取り組まなければならない。 将来を見越した上で、家族に対して早い段階でホームとしての看取りに関する指針を十分説明しておくことが望まれる。

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
48		○重度化や終末期に向けたチームでの支援 重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている	(自己評価) ご本人、ご家族の意思を大切に、終末期が訪れた場合には、その都度話し合いを持ち、納得して安心した最期を迎えられるような体制や緊急時に対応していただけの医療機関も確保している。	※	今後早急に取り組んでいかなければならない。
49		○住み替え時の協働によるダメージの防止 本人が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている	(自己評価) 今までの暮らしができるように、アセスメントや注意事項、支援状況などの情報提供を行い、ダメージを最小限にする。		
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1) 一人ひとりの尊重					
50	20	○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	(自己評価) 言葉遣いに気をつけて、プライバシーの確保についての注意を日頃から話し合っている。 (外部評価) 個人情報保護に関する意識向上に努めている。ホーム便りの写真掲載は家族から同意を得ている。本人の誇りを傷つけるような呼びかけが聞かれることがまれにある。	※	声かけ、対応時馴れ合いになってしまわないように配慮したい。個々の人格を尊重する支援を心がけたい。
51		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている	(自己評価) 行きたいところや、食べたいものなど、内に秘めたものをなかなか引き出せない。また、かなえるためには、職員の力だけでは、どうにもならないこともある。	※	利用者が自分で決めて、自分で納得し、自分で行動できる場面のお膳立てがもっとできるよう努力したい。

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
52	21	○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	(自己評価) したい事を利用者に尋ねる等、意思を優先し、活動の少ない方には声かけをし興味のあることを引き出すよう支援しているが、希望に添えないことがありなかなか難しい。 (外部評価) 入浴、散歩、買い物、就寝時間などは各人の希望にそった支援を行い、一人ひとりのペースを尊重したケアに取り組んでいる。	※	その時の本人の気持ちを尊重し、できる限り個性のある支援を行いたい。
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
53		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている	(自己評価) 日々の髴そり、化粧等身だしなみへの支援を行っている。		
54	22	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	(自己評価) 食事の盛り付けや、かたづけを利用者と共に行い、職員も一緒に食卓を囲むようにしている。 (外部評価) 利用者の状態や希望に応じて食前、食後の手伝いをしてもらい、更に可能な場合は利用者の好みの献立を取り入れることもある。介助を要する利用者には側に座り、語りかけながら十分時間を取って支援を行っている。		利用者と一緒に献立てを立てたり、材料等一緒に買い物したい。
55		○本人の嗜好の支援 本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している	(自己評価) お酒やコーヒー等希望に応じて支援している。タバコについては、家族と協議し、過度にならない範囲で、職員が管理しながら、喫煙所にて吸っていただいている。		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
56		○気持ちよい排泄の支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している	(自己評価) 尿意のない方には、時間や排泄表を確認しながら、トイレ誘導を行っている。夜間について尿意のある方にはポータブルトイレを使用する等トイレで排泄できるよう支援している。		
57	23	○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	(自己評価) 業務時間の都合でゆとりある入浴が難しくなりつつある。日曜日は、面会の方も多くなるため入浴休みとしている。 (外部評価) 毎日入浴をしている人もおり、2日に1度の場合もあるが、本人の希望に沿って支援を行っている。入浴拒否はほとんどないが、拒否がある場合はじっくり話しかけながら支援を行っている。	※	回数が減っても、湯ぶねにつかっているときは、リラックスできるよう関わりをもちたい。
58		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している	(自己評価) 心身の状況の把握に努め、日中の過ごし方、夕方から夜の時間の過ごし方に配慮している。夜間も眠れない利用者のは、むりじいすることなく、飲み物の提供等しながら自然な眠りにむけてしえんしている。		
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
59	24	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	(自己評価) その時々状況に合わせて、食事のかたづけ、洗濯物のかたづけ等てつだって頂き、大切な存在であることを伝えている。 (外部評価) 食前、食後の手伝い、洗濯物たたみ、野菜作り、鶏の世話など、出番を多く設けて喜びを感じてもらっている。また歌の得意な人にリードしてもらい、校歌や童謡を歌っている。書道、ぬり絵の得意な人には、特技を楽しんでもらっている。		役割、楽しみごと、気晴らしの支援を今まで以上に考えていく。

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
60		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	(自己評価) お金を持つ事により安心されるかたについては、もっておられるが、原則的にホームが管理している。(トラブル防止)		買い物の支援をもっと行っていきたい。
61	25	○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ぎずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	(自己評価) 日常的な散歩や、地域の行事等の外出は行っているが、その人のなじみの場所への外出や個別の対応はむづかしい。 (外部評価) 午前中に木陰のある道を散歩したり、近くの神社まで足を延ばすこともある。散歩道にはホームがベンチを用意しており、一休みできるように工夫している。	※	利用者がちょっと出かけて「楽しめる場所をふやしたり、日常的に出かけたくなるようなふいんきづくりを行って行きたい。(安全面に注意)
62		○普段行けない場所への外出支援 一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している	(自己評価) 季節に応じた花見や、家族合同のピクニック等実施している。個別の対応はむづかしい。		できないとあきらめず、どうすればできるか考え、糸口をみつけていきたい。
63		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	(自己評価) 電話の要求に対しては、御家族の負担もありむづかしい。手紙の支援はおこなっている。	※	今後ホームでのせいかつぶりなど写真で絵葉書をつくり、御家族に送りたい。
64		○家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している	(自己評価) 時間にとらわれず、気兼ねなく立ち寄っていただけるよう配慮している。また、居室にて自由に過ごしていただけるようにしている。		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(4) 安心と安全を支える支援					
65		○身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる	(自己評価) 具体的な行為を職員で勉強し、マニュアルを作成し、身体拘束をしないいうにとりこんでいる。	※	身体拘束をしないことについて理解しているつもりではあるが、具体的なことについては、今後知識を深め職員全員で共有していきたい。
66	26	○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	(自己評価) 日中は鍵をかけておらず、見守り重視で常に所在確認に注意している。ユニット入り口には、感知式の犬の置物をおいている。 (外部評価) 利用者に精神的な圧迫感を与えないよう、日中は玄関には施錠していない。利用者一人ひとりの外出傾向を把握しており、常に見守る姿勢を大切にして、安全な支援に努めている。		
67		○利用者の安全確認 職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している	(自己評価) さり気なく状況を把握するよう目配り、気くばりしている。夜間帯も気配を感じることでできる場所での記録など気をつけている。	※	今後もプライバシーに配慮しながら離党などによる事故防止に努めたい。
68		○注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている	(自己評価) 現状を把握し、管理をしている。外泊などの際は、ご家族にもお願いしている。		
69		○事故防止のための取り組み 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる	(自己評価) 日々のヒヤリハットを活かし、再発防止や、ケアの改善につなげていけるようとりこんでいる。		


自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
70		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている	(自己評価) 救急救命法の講習を年1回受講しているが、緊急時に慌てず、適切に対応できるか不安もある。	※	今後も定期的かつ継続的な講習をおこない、すべての職員が緊急時に対応できるよう取り組みたい。
71	27	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	(自己評価) 年1回の非難訓練を行っているが、地震対策など、まだ行っていない。 (外部評価) 災害時のマニュアルを作成し、連絡網を整備している。水、おむつ、食料等の備蓄もある。消防署の指導を受けて、夜間を想定した避難訓練を年2回実施している。またホーム独自の避難訓練を年間3～4回実施しているが、地域へ協力を呼びかける体制はまだ整っていない。	※ ※	マニュアルを作成し、定期的に訓練を行い、非常用品の点検や近隣の方へのお願いも行っていきたい。 災害時には地域の協力が不可欠であるため、運営推進会議などを通じて協力をお願いし、地域の協力を得た避難訓練を実施することを望む。また避難マニュアルは緊急の際に直ぐに手にとって見ることができるよう、ホームの何か所かに備えておくことを期待する。
72		○リスク対応に関する家族等との話し合い 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にしたい対応策を話し合っている	(自己評価) 起こりうるリスクをご家族に話し、力の発揮や自由な暮らしの大切さの中には、リスクを伴う事などを話し取り組んでいる。		
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
73		○体調変化の早期発見と対応 一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている	(自己評価) 早期の対応、気づきに心配りしている。		
74		○服薬支援 職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	(自己評価) 服薬の内容については、担当の薬剤師から説明をうけている。	※	今後、薬剤師や看護師による勉強会を重ね、全ての職員が理解を深めていきたい。

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
75		○便秘の予防と対応 職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる	(自己評価) 個々の今までの生活暦、食習慣もふまえながら、早めの対策を心がけている。		今後も看護師や、協力医の指示を仰ぎながら、その方にとって、最善の便秘の予防と対応を行って行きたい。
76		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている	(自己評価) 毎食後、利用者の様子をみながら、声かけをしたり、歯磨きの準備を行っている。自分で行えない方は、声かけながら援助している。		
77	28	○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	(自己評価) 食事摂取量の把握はできている。毎月の体重測定や、水分補給を定期的に行っている。 (外部評価) 各人の食事・水分摂取量は詳細に記録しており、健康状態に十分配慮しながら食事支援を行っている。献立には汁物を多く摂り入れ、入浴前後、外出後などには水分補給に配慮している。	※	利用者一人ひとりに必要な栄養や、水分摂取量についても、知識を高めたい。
78		○感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している（インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等）	(自己評価) 感染症に対する勉強会を行い、予防や取り決めがなされている。	※	今後も定期的に勉強会を行い、知識を深めたい。
79		○食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている	(自己評価) まな板やふきん等は、毎晩漂白し、清潔を心がけている。食品の賞味期限のチェックを行い、新鮮で安全な食材の提供を心がけている。		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1) 居心地のよい環境づくり					
80		○安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている	(自己評価) 明るく開放的な玄関には、季節の花を活け、来客者をもてなしている。ホーム数百メートル手前には、ホームの案内看板を設置しており、来訪者への配慮をしている。		夏場は、玄関を網戸にして、中間の戸も時々あけている。
81	29	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	(自己評価) 共用空間には、家具など家庭的なものを設置し、和室は、冬場は掘ごたつとして活用している。 (外部評価) 居間は広く、自然の明かりを取り入れ、空調は適切に管理されている。広いテラスにはテーブルといすが備えられており、自由に過ごすことができる。トイレ、浴室、台所も清潔で安全である。		
82		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	(自己評価) タバコを吸われる方は、テラスの隅に落ち着けるスペースがあり、時々職員も一緒に一服する。		
83	30	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	(自己評価) 居室には、思い出の写真やお位牌などもちこまれており、個々が心穏やかに過ごせるよう心がけている。 (外部評価) 居室は明るく、馴染みの物品や思い出の写真などで部屋を飾り、安心して落ち着いて過ごせるよう工夫をしている。	※	各居室の入り口に大きく苗字を書いた用紙が貼られており、部屋の確認に役立っているが、苗字だけでなく姓名（フルネーム）での表示について検討してみることを期待する。

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
84		○換気・空調の配慮 気になるにおいや空気のだよみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないよう配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている	(自己評価) 換気や温度調節を行い、快適な設定を心がけている。天井からのファンの利用や、冬場は床暖房を使用している。	※	動いている職員とじっとしている利用者との体感温度の違いを常に意識しながら、気配りを忘れない。
(2) 本人の力の発揮と安全を支える環境づくり					
85		○身体機能を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	(自己評価) テラスまでのつくりは、バリアフリーとなっており、車椅子やシルバーカーでも利用でき、洗濯物干しなど生き生きとされている。		
86		○わかる力を活かした環境づくり 一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している	(自己評価) 居室、トイレ、風呂場などの目印は、利用者に分かり易いようイラストもいれ、工夫している。		
87		○建物の外周りや空間の活用 建物の外周りやベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている	(自己評価) テラスには、ベンチを設置しており、日光浴やボール遊びなど活動の場になっている。畑では野菜づくりや、収穫を利用者と共に行っている。		

(注)

- 1  部分は自己評価と外部評価の共通評価項目。
- 2 全ての自己評価又は外部評価の項目に関し、具体的に記入すること。

V. サービスの成果に関する項目			
項目	取り組みの成果 (該当する箇所を○印で囲むこと)	判断した具体的根拠	
88	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる	1 ほぼ全ての利用者の (自己 ② 利用者の2/3くらいの 評価) 3 利用者の1/3くらいの 4 ほとんど掴んでいない	叶える事の出来ない願いも、全員の思いや願い事はむづかしいが、その時々で思いや暮らし方等汲み取っていく。
89	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	1 毎日ある (自己 ② 数日に1回程度ある 評価) 3 たまにある 4 ほとんどない	一緒に食事、テレビを観たり、和室でゆっくり過ごしている。
90	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	1 ほぼ全ての利用者が (自己 2 利用者の2/3くらいが 評価) ③ 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	一人ひとりのペースは把握しているが、スタッフのペースが先に優先してしまう時がある。
91	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている	1 ほぼ全ての利用者が (自己 2 利用者の2/3くらいが 評価) ③ 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	現状に満足せず、もっと多くの笑顔がみられるように努力していきたい。
92	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている	1 ほぼ全ての利用者が (自己 2 利用者の2/3くらいが 評価) ③ 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	自由に外へ出ているが、もっと買い物等の支援をしていきたい。
93	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている	1 ほぼ全ての利用者が (自己 ② 利用者の2/3くらいが 評価) 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	看護師による訪問もあり、日頃から健康管理や状態を把握しているが、常に不安はある。
94	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	1 ほぼ全ての利用者が (自己 ② 利用者の2/3くらいが 評価) 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	今後も不安や困ったことなどを減らせるよう取り組みたい。
95	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	1 ほぼ全ての家族と (自己 ② 家族の2/3くらいと 評価) 3 家族の1/3くらいと 4 ほとんどできていない	春のうららだよりにて日々の生活の状況を見ていただいたり、対話をよくしている。
96	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	1 ほぼ毎日のように (自己 ② 数日に1回程度 評価) 3 たまに 4 ほとんどない	ボランティアの方々より訪問をして頂いている。近隣の方の面会もよくある。

項 目		取 り 組 み の 成 果 (該当する箇所を○印で囲むこと)	判断した具体的根拠
97	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている	1 大いに増えている (自己 ② 少しずつ増えている 評価) 3 あまり増えていない 4 全くいない	ボランティアの方との橋渡しをしていただき、利用者はとても喜ばれたのしみにされている。
98	職員は、生き活きと働けている	1 ほぼ全ての職員が (自己 ② 職員の2/3くらいが 評価) 3 職員の1/3くらいが 4 ほとんどいない	疲れている素振りをみせず、生き生きと楽しみながら取り組みしている。
99	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	1 ほぼ全ての利用者が (自己 ② 利用者の2/3くらいが 評価) 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	あなたがいてくれてよかった、と言われる。表情などからおおむね満足していると感じる。
100	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	1 ほぼ全ての家族等が (自己 ② 家族等の2/3くらいが 評価) 3 家族等の1/3くらいが 4 ほとんどできていない	面会に立ち寄られた際、ご家族様より御礼の言葉から満足しているように感じる。

【特に力を入れている点・アピールしたい点】

(この欄は、日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入してください。)

(自己評価)

職員は気持ちにゆとりをもち、お一人おひとりと笑顔で接する事や、スキンシップに心がけている。又、日常生活の中で、利用者に教えて頂いたり、助けていただく場面を大切に、自立に向けた支援へ繋げるよう配慮している。職員同士では、お互いの気づきを活かして、ケアの質の向上にむけて取り組んでいる。